

# 資料－1

## 第1回 プロセス運営委員会（H27.4.16）の主な意見と対応について

### （1）コミュニケーション実施計画及び情報提供内容について

主な意見	回答・対策方針など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展示の実施計画箇所に琉球大学がないのはなぜか。</li> <li>・北部地区は沖縄工業高等専門学校も入れた方が良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・琉球大学と沖縄工業高等専門学校を追加した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホなどのモバイルでの利用も進めているとあるが、どのようにしているのか。</li> <li>・スマホでアンケートなどの提供もできるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホでも閲覧及びアンケートへ回答できるよう対応した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回のニューズレターは約50万戸に配布されたが、どのくらいの県民が読んでいるのか把握すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニューズレターを県民がどの程度読まれているか把握することは困難であるが、ニューズレター及び意見募集について幅広く周知するため、マスコミへの情報提供を積極的に行い、記事として取り上げてもらったほか、パネル展示、オープンハウスを追加実施した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PRも兼ねて、街頭インタビューなどで認知調査をしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月14日から6月21日の期間において、ステップ1と同様県内21カ所で認知度調査を実施した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニューズレターの図表で示したいメッセージも併せて表記する必要がある。</li> <li>・資料3-①（ニューズレター）のP2～3は、何が課題であるか分からないため、現状で推移するとどのような悪影響があるのか分かるようにすべき。例えば福祉の面で高齢者ドライバーが増え、事故が増えるなどを示した方が良い。</li> <li>・P2の「専門家からの一言」はどの会議で出た発言か表記すべき。</li> <li>・P6の口（四角）の中の文字数が多いため、ポイントを一言で表した方が良い。</li> <li>・アンケートについて、宛先の住所は県庁の方が、出す人にとって安心できると思う。</li> <li>・パネルは交通の話のみだが、通学や福祉の話、また方言を盛り込むと親近感が湧く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘を踏まえ、ニューズレターについて、イラストや説明書きを工夫し、よりわかりやすく整理した。</li> </ul>

主な意見	回答・対策方針など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3-①（ニューズレター）のP1にあるステップの図で、実施中の部分は塗りつぶしてあるが、位置付けなど一目で分かるような工夫が必要。</li> <li>・文言を少なくし、メッセージ性を持たせ、タイトルは一行で収める必要がある。</li> <li>・P8に「オープンハウス」という言葉があるが、全員が知っている言葉なのか。オープンハウスは評価すべき取組のため、見落とされないようにした方が良い。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・強調するパネルはB2の4倍ぐらいの大きさにして、詳細はニューズレターという形でも良い。</li> <li>・パネルが小さく、後ろの人が見えなくなるのでA0やA1サイズでもよいのではないか。サイズを2種類作り、展示する場所で使い分けてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネルの一部をB2サイズからB1サイズへ変更し、パネルの展示箇所のスペースに合わせて、B1とB2の2つのサイズを組み合わせて展示した。</li> </ul>

## (2) 県民会議、市町村会議、関係機関等意見交換会の設置について

主な意見	回答・対策方針など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民との意見交換会では、地域の独自性を抽出することが重要。</li> <li>・個別の立場から地域コミュニティに何が望ましいかという視点で意見を出させるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民会議について、様々な地域の意見を把握できるように、地域や性別、年齢等が偏らないよう参加者を募集した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民会議の設置趣旨について「県民共通のニーズ」とあるが、価値観は人それぞれなので、“共通”を取り「県民のニーズ」とすべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘どおり修正し、県民会議では、個別意見と共通意見を分けて整理した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民会議の意見交換会を進めるのは必要だが、参加できない県民に、結果をどのように返すのか。いつ分かるのか。</li> <li>・県民会議の意見は全部公表するのか、集約して公表するのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民会議で頂いた意見については、7月29日及び8月5日に開催した技術及び計画検討委員会で、総括とグループ討議の個別結果を合わせて報告し、委員会終了後HPにて公表した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民会議は開催予定場所が南部合同庁舎となっているが、北部の方が参加するには難しくないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に開催した県民会議は那覇新都心にある県立博物館・美術館で実施したが、次回は北部を予定している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村会議は南部だけや中部だけというのではなく、全市町村での会議が必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、検討の進捗状況に応じて、全市町村が一堂に会した会議を開催していく。</li> </ul>

主な意見	回答・対策方針など
・県民会議のメンバーは毎回同じ人で、場所だけが変わるのか。	・原則、県民会議の参加者は入れ替えを行わず、場所のみ変更することを予定している。

### (3) 各ステップの評価方法について

主な意見	回答・対策方針など
・P2に「提供した情報が“周知”されたか」とあるが“周知”より“認知”が良いのではないか。	・評価の視点として設定した4つの評価視点のうち、「情報提供」と「周知」の2つについては、情報の提供方法と、提供した情報内容に関する評価指標が混在していた。 ・そのため、上記2つの視点を「情報提供方法」と「情報内容」に再整理を行った。 (資料5)
・対応については、「公正・中立な立場で整理できたか」「少数意見に配慮できたか」という視点での評価も必要ではないか。	・頂いた意見については数ではなく、内容に基づき整理を行い、意見への対応を示した。 (資料4)

### (4) 検討スケジュールについて

主な意見	回答・対策方針など
・大変そうなスケジュールだが、丁寧にしていく事が必要なので、多少スケジュールが延びても構わないという大らかさが必要である。	・第2回技術及び計画検討委員会でも同様な指摘があったことから、今後スケジュールを見直す予定。